

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年11月

応募者名：大分県

事業の名称：大分都市計画道路事業

3・2・67号下郡中判田線外1線

実施都市名：大分県大分市

事業目的

- ・交通の分散、災害時の緊急輸送道路としての役割が期待される大分市南北方向の道路ネットワークを強化する。
- ・鉄道で分断された南北市街地の通行をスムーズにする。
- ・自歩道の整備により、安全な歩行者通行空間を確保する。

事業概要

事業名称：(都)下郡中判田線街路事業

路線名：大分都市計画道路事業

3・2・67号下郡中判田線外1線

事業箇所：大分市牧1丁目～大分市下郡

事業延長：L=840m(内橋梁部 L=382.2m)

幅員：W=13.0m(22.0～44.5m)

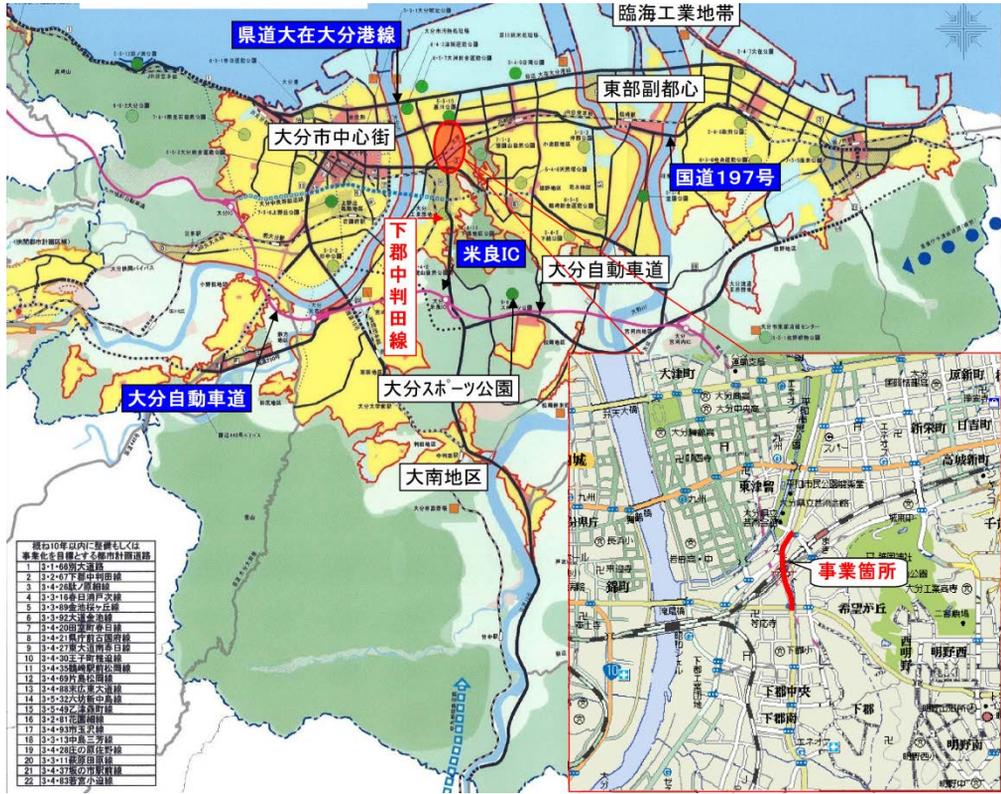
事業費：89億円

事業実施期間：平成8年度～平成26年度(19年間)

下郡中判田線は大分市中心部より東側約2kmに位置する都市計画道路で、道路の北側には大分市街地、臨海工業地帯が立地し、南側では九州横断自動車道 大分米良ICと接続しており、南北方向の主要幹線道路と位置づけられている。当該道路は、大分市牧、下郡でJR日豊本線とJR大分車両センター(車両基地)により、分断されていた。また道路の周辺では朝夕の通勤・通学時の渋滞は著しく、整備が求められていた。このことから、跨線橋により鉄道と立体交差し、南北の連結を図り、市街地の道路網の整備並びに高速道路とのネットワーク強化を目的として事業が計画された。

また、跨線橋の架設は、平成22年度に行われ、延長約90m、幅約20mの桁を送り出す工法で、当時、全国的に最大級の規模の施工であった。

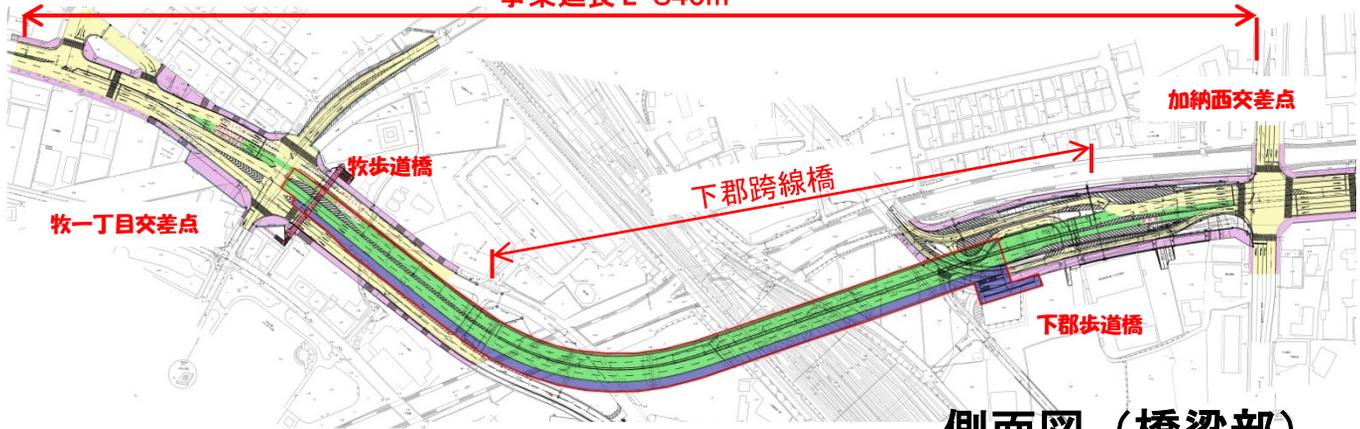
事業位置図



全体図 (平面図・側面図・横断図)

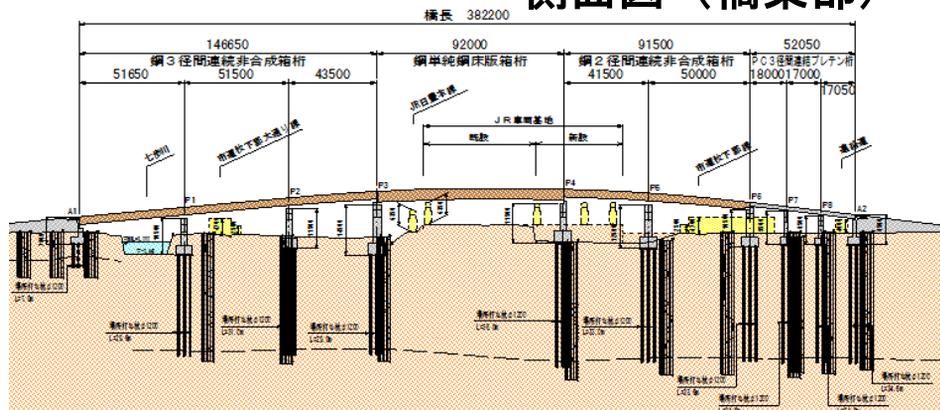
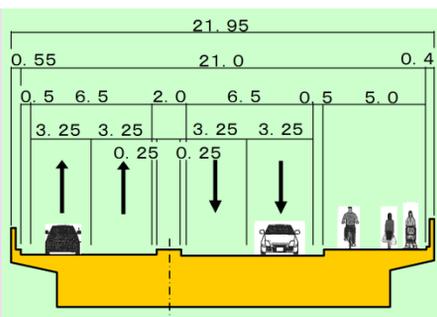
事業延長 L=840m

平面図

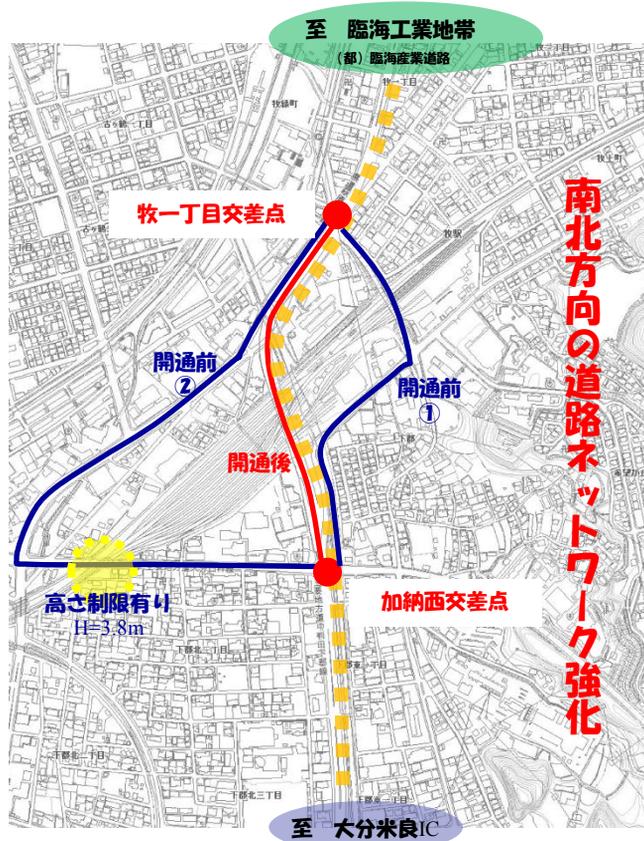


側面図 (橋梁部)

跨線橋区間標準横断



(都) 下郡中判田線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名：大分都市計画道路事業

路線名：3・2・67号下郡中判田線 外1線

事業箇所：大分市牧1丁目～大分市下郡

事業延長：L=840m（内橋梁部 L=382.2m）

幅員：W=13.0m（22.0～44.5m）

総事業費：89億円

事業期間：平成8年度～平成26年度（19年間）

「整備効果写真」



「整備効果」

□南北方向の道路ネットワークの強化

- ・交通の分散、災害時の緊急輸送路として期待される
- ・鉄道で分断された南北市街地の通行がスムーズになった
- ・牧1丁目交差点と加納西交差点を最短ルートで結ぶ
- ・開通前の最短ルート（大分臼杵線）では通行の高さ制限（H=3.8m）があるが、開通後ルート上には、高さ制限は無い

□アクセス向上による産業の活性化

大分自動車道大分米良ICへのアクセスが向上することにより、産業の活性化などが期待される

□歩行者などの安全確保

自転車歩行者道の整備により歩行者などの安全が確保された

事業前写真

平成18年度撮影



平成18年度撮影

牧一丁目交差点



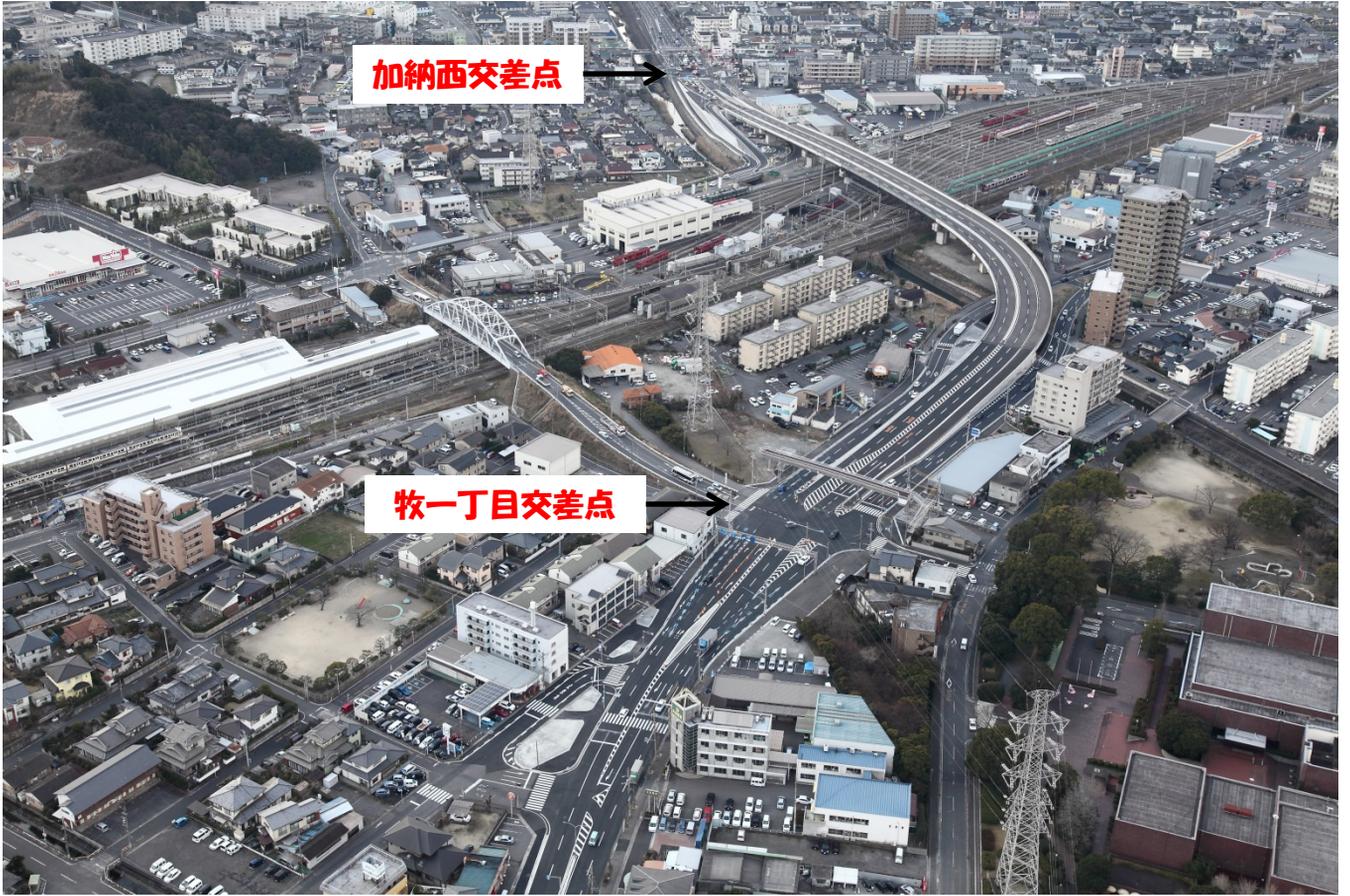
平成18年度撮影

加納西交差点



事業後写真

平成27年2月撮影



平成27年2月撮影



路線全体の進捗状況

